

■法政大学大学院 情報科学研究科の入学試験制度について

情報科学研究科では、以下の入学試験制度を設けています。出願資格や試験内容等の詳細は、募集要項をご覧ください。

(1) 一般入試

本制度は、学内・他大学からの進学希望者を広く受け入れるため、筆記試験（博士後期課程は小論文）と口述（面接）試験、英語外部試験の結果を総合的に評価して入学を許可する制度です。

(2) 学内・学外推薦入試

※学内推薦入試（他学部）及び学外推薦入試（国内）は、修士課程（博士前期課程）においてのみ実施。

・学内推薦入試（情報科学部・情報科学研究科）

本学情報科学部の学部生で修士課程への進学を希望する者、および本大学院情報科学研究科修士課程の学生で博士後期課程への進学を希望する者を対象に、事前に受験許可を得た者に対して、口述（面接）試験（卒業（修士）論文内容、および入学後の研究計画に関するプレゼンテーション）の結果を総合的に評価して、入学を許可する制度です。

・学内推薦入試（他学部）・学外推薦入試（国内）

本学情報科学部以外の学部、及び他大学からの優秀な人材を受け入れるため、事前に受験許可を得た者に対して、口述（面接）試験（卒業論文内容、および入学後の研究計画に関するプレゼンテーション）の結果を総合的に評価して、入学を許可する制度です。

(3) 社会人特別入試

本制度は、海外を含む民間企業、国内行政機関および公益法人などが提供する研究施設において2年以上勤務した者を対象に、筆記試験（小論文）と口述（面接）試験の結果を総合的に評価して、入学を許可する制度です。

以上